

(傍聴資料)

令和8年竹田市議会第3回定例会

一般質問事項

令和8年9月7日(月)

竹 田 市 議 会

一 般 質 問 の 日 程

9月7日(月)

順番	議席	議員氏名	会派・党派
1	1番	中 村 光 三 議員	前進の会
2	4番	賀籠六めぐみ 議員	創生会
3	7番	工 藤 忠 孝 議員	前進の会
4	12番	佐 藤 美 樹 議員	創生会
5	9番	後 藤 建 一 議員	創生会

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月7日（月）】

質問順位 1 番

議席番号 1番 中村 光三 議員(前進の会)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 災害関連死を防ぐための避難所環境整備について	(1) 避難所環境整備について ア. 本市は今回の地震からどのような教訓を得て、防災計画や避難所運営に反映しようとしているのか伺う。	
	イ. 避難所における非常用電源、空調整備、給水設備、トイレ、通信手段、Wi-Fiなどの整備状況はどうなっているのか。 また、長期避難に対応できる体制となっているのか伺う。	
	ウ. 高齢者や障がい者、乳幼児、妊産婦の災害時要配慮者への支援体制は十分に整備されているのか伺う。	
	エ. 今回の災害を踏まえ、今後の本市の防災・減災対策、特に避難所環境の充実について、市長のお考えを聞く。	
2. シカ・イノシシ等の捕獲個体の処理方法について	(1) 捕獲個体の処理について ア. 有害鳥獣として捕獲された個体の適正処理について、捕獲者から処理に苦慮されているとの声は寄せられていないか伺う。	
	イ. 埋設や運搬など捕獲後の処理に係る時間的・経済的負担について、市はどのように認識しているのか伺う。	
	ウ. 現在の処理方法で今後も捕獲頭数の増加に十分対応できると考えているのか伺う。	
	エ. 捕獲者の負担軽減や衛生的な処理を進めるため、焼却施設での受入れを含め、新たな処理方法や処理施設、支援策を検討する考えはないか伺う。	
3. 各種学力調査における学力向上について	(1) 学力向上について ア. 各種学力調査における学力向上を学校教育課としてどのように評価・分析されているのか伺う。	
	イ. 成果を一過性にせず、今後どう伸ばしていく考えがあるのか伺う。	

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月7日（月）】

質問順位 2 番

議席番号 4番 賀籠六めぐみ 議員(創生会)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 多様な意見が反映される社会実現について	(1) 男女共同参画について ア. 審議会や委員会等の女性委員割合の現状をどう考えているか。	
	イ. 女性委員を増やすためにどのような取組をしているか。	
	(2) 市町村交通安全対策協議会について ア. 女性の人数が少ない理由は何か。	
	イ. 年齢構成はどうなっているか。	
	ウ. 市町村交通安全対策協議会をはじめ、多様化する社会の中で、委員登用のあり方について、女性委員の増員や若い年齢層の委員の登用、外国人委員の登用など多様な人材を入れるべきではないか。	
3. 幼児教育について	(1) 市が管理する幼児教育施設の運営について ア. 市の管理する幼児教育施設の運営状況をどのように考えているか。	
	イ. 早く終わる幼稚園降園後の子どもたちの居場所はどのようになっているか。	
	(2) 今後の方針について ア. 特に、竹田地域では、就学前の教育・保育を一体的に行う認定こども園化推進を図るべきだと考えるが、市の考えは。	
	イ. 保護者のニーズはどうなっているか。	

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月7日（月）】

質問順位 3 番

議席番号 7番 工藤 忠孝 議員(前進の会)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 道の駅施設の再整備について	(1) 市の基本認識と今後の方向性について ア. 第2次総合計画では交流人口の拡大や農業振興が柱となっているが、これらの政策と照らし道の駅にどのような役割を期待しているのか。	
	イ. 中九州横断道路の開通を見据えた、交通流動の変化は、本市の道の駅にどのような影響と好機をもたらすと考えているか。	
	(2) 機能強化に向けた再整備について ア. 国の「道の駅」重点支援制度や防災減災交付金などを活用し再整備を図る考えはないか。具体的方針計画はあるか。	
	イ. 第2次竹田市総合計画の実現に向け、道の駅の再整備を市の重要な攻めの投資と位置付けるべきと考える。市長の今後の展望を伺う。	
2. 高齢者福祉の充実に 向けた温泉施設の活用について	(1) 介護事業所の減少に伴う高齢者の現状について ア. 過去5年間における通所介護事業所等の減少推移と、それに伴う利用回数の減少やサービス利用を断念した高齢者の実態をどのように把握しているか。	
	イ. デイサービス事業所の休止や廃止が、高齢者の衛生保持や心身の健康維持（入浴支援）にどのような影響を及ぼしている と認識しているか。	
	(2) 「竹田温泉花水月」を活用した独自の入浴支援策の創設について ア. 高齢者の健康増進と孤立防止を図るため、「竹田温泉花水月」を活用した本市独自の入浴支援サービスや高齢者交流モデルを検討・創設してはどうか。	
3. 地域医療体制の充実 強化について	(1) 医師確保の現状と通院支援について ア. 豊肥医療圏及び市内における整形外科医の配置状況と、それに伴う市民生活への影響をどのように認識しているか。	
	イ. 2次救急医療を担う病院では、地域医療を支える取組として患者送迎事業を実施しているが、燃料費や運行経費に対する支援について検討する考えはないか。	
	ウ. 地域医療体制を維持・強化するため、市として今後どのような支援策を講じていく考えか。	
	エ. 今後、オンライン診療を戦略的に導入・普及していく計画や考えはあるか。	
	(3) 持続可能な地域医療体制の堅持に向けた市の方向性について ア. 医療圏全体の縮小が懸念される中、市民の命と健康を守るために、市長は地域医療をどのように捉え、今後どのようなリーダーシップを発揮していく決意か。	

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月7日（月）】

質問順位 4 番

議席番号 12番 佐藤 美樹 議員(創生会)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 南海トラフ地震を想定した災害対応について	(1) 地域防災計画と災害対応の実効性について ア. 計画で想定する給水体制について、市が保有する給水車1台では不十分ではないか。給水車は増台し、加えてトイレトレーラーを導入するべきではないか。	
	イ. 個別避難計画の運用について。対象者の避難状況をどのように把握し、対応するのか。	
	ウ. 仮設住宅整備について、要・不要の判断基準や候補地選定など、どのように検討をすすめるのか。	
	(2) 避難所の運営について ア. 冷暖房設備が未整備の避難所がある。整備計画はあるか。	
	イ. 男女別や母子指定の避難エリアは検討しているか。	
	ウ. 外国人への対応はどう行うのか。	
	エ. ペット同伴避難所の設置について考えはあるか。	
	(3) 災害想定に対する予防について ア. 孤立集落の想定と対応について。竹田市は災害時の集落の孤立率が高いとの指摘がある。事前・発災時の対応は。	
	イ. ハザードマップ上に急傾斜危険区域に指定された住民に対する措置として、対策工事要件の見直しが必要ではないか。	
2. 建設分野の人材確保について	(1) 建設分野の人材確保について ア. 市の土木および建築の技術職員は充足しているか。また人材確保にどのような取組をしているか。	
	イ. 民間の建設事業者は人材確保に苦慮している。市はどう把握し対応するのか。	

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月7日（月）】

質問順位 5 番

議席番号 9番 後藤 建一 議員(創生会)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 各温泉施設の衛生管理について	(1) 温泉施設でのレジオネラ菌検査について ア. 市の指定管理施設と直営施設のレジオネラ菌の検査方法と過去3年間の結果を伺う。	
	イ. 施設利用者への検査結果の周知方法は、掲示以外に工夫はあるか。	
	ウ. 基準値をこえた菌が検出された場合、再発防止策等を検討しているか伺う。	
2. 田んぼダムについて	(1) 田んぼダムの内容と目的 ア. 田んぼダムに取り組むメリットは何かを伺う。	
	イ. 主な工事は何かを伺う。	
	ウ. 竹田市内における今後の工事計画を伺う。	
3. 流域治水プロジェクトについて	(1) 大野川水系流域治水プロジェクトについて ア. 大野川水系になる竹田市で氾濫をできるだけ防ぐための対策を伺う。	
	イ. 被害対象を減らす対策を伺う。	
	ウ. 早期復旧・復興のための対策を伺う。	
	エ. グリーンインフラ事業として「玉来川かわまちづくり」があるが効果を伺う。	
	オ. 気候変動に伴う水害リスクの増大が考えられるが、今後の流域治水の具体的な取組について伺う。	

(傍聴資料)

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会

一般質問事項

令和8年9月8日(火)

竹 田 市 議 会

一 般 質 問 の 日 程

9月8日(火)

順番	議席	議員氏名	会派・党派
1	2番	副 田 富 雄 議員	無会派・公明党
2	8番	阿 南 智 博 議員	忠恕ユニット
3	3番	上 島 貞 子 議員	無会派・共産党
4	10番	本 郷 敦 子 議員	前進の会

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月8日（火）】

質問順位 1 番

議席番号 2番 副田 富雄 議員(無会派・公明党)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 人的受援計画の実効性と必要人員の事前把握について	(1) 本市の人的受援体制について ア. 本市は人的応援の受け入れに関する受援計画を策定しているのか、策定時期、直近の見直し、計画の対象業務を伺う。	
	イ. 避難所運営、住家被害認定、罹災証明書交付、被災者相談などについて、災害時に必要となる職員数と、不足が見込まれる職員数を事前に策定しているのか伺う。	
	ウ. 人的応援を要請する判断基準、責任者、県や協定自治体への要請ルートは明確になっているのか伺う。	
	エ. 応援職員の受け入れを統括する体制、執務場所、通信環境、宿泊場所、各部局への配置と指揮命令の方法は整備、訓練がされているのか伺う。	
	オ. 受援計画に基づく全庁的な訓練を行い、その結果を踏まえて計画を更新していく予定はあるか。	
2. 観光ボランティアガイドについて	(1) 観光ボランティアガイドの活動について ア. 観光客が観光ボランティアガイドを利用した件数及びボランティアガイドの人数と現状を伺う。	
	イ. 今後とも必要と考えるが、課題等をどう把握しているか伺う。	
	ウ. 観光ボランティアガイドの若手、後継者育成のため支援の考えはあるか伺う。	
3. 交通空白地域について	(1) 本市の交通空白解消に向けた取組 ア. 本市の交通空白地域の現状について伺う。	
	イ. 人工知能を活用したオンデマンドバスの運行が有効だと考えるが、現状はどうか伺う。	
	ウ. タクシー利用料金の助成といった支援はできないか伺う。	

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月8日（火）】

質問順位 2 番

議席番号 8番 阿南 智博 議員(忠恕ユニット)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 一人で暮らす高齢者世帯への対応について	(1) 最新の独居高齢者世帯の実態について ア. 65歳以上の世帯数と把握手段について。	
	イ. 行政による見守り支援やサービスについて伺う。	
	ウ. 地域での支えあい体制の現状について。	
	エ. 異変を把握した場合の対応について。	
	オ. ICTの活用など、今後の見守り体制の強化について。	
2. 地域包括ケア計画について	(1) 在宅介護支援策等について ア. 最新の介護度別認定者数を伺う。	
	イ. 今後の認定者数の推移をどのように推計しているか。	
	ウ. 居宅介護支援の現状について。	
	エ. 介護支援体制の課題はどのようなものがあるか。	
	オ. 常に介護を要する認定者数は。	
	カ. 介護者支援策について伺う。	
	キ. 経済的支援策について伺う。	

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月8日（火）】

質問順位 3 番

議席番号 3番 上島 貞子 議員(無会派・共産党)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 豊後竹田駅周辺整備事業について	(1) 今後の事業予定について ア. 現在の駅前整備事業は、計画全体の中でどのような段階にあるのか。	
	イ. 今後の計画において、市民の意見をどのように反映していくのか。	
	(2) 竹田駅を核とした中心市街地の活性化について ア. 豊後竹田駅周辺整備事業は、単なる駅前整備だけでなく、中心市街地全体の活性化につなげるため、今後どのような街づくりを進める考えか。	
2. 災害時における避難計画について	(1) 個別避難計画について ア. 本市の個別避難計画における視覚障がい者、聴覚障がい者等の避難経路等の計画内容について伺う。	
	イ. 今後、視覚障がい者、聴覚障がい者等について、障害の特性に応じた避難訓練を実施する考えはないか。	

令和 8 年竹田市議会第 3 回定例会一般質問事項

【9月8日（火）】

質問順位 4 番

議席番号 10番 本郷 敦子 議員(前進の会)

発 言 事 項	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1. 情報発信について	(1) 市民への情報発信について ア. 現在、全戸に「広報たけた」を発行しているが市民からの意見はありますか。	
	イ. 「広報たけた」をより多くの人に見てもらうために、どのような工夫をしているか。	
	(2) 情報発信の取組について ア. 観光プロモーション課として半年が経過したが現状の取組を伺う。	
	イ. 観光客数、観光客の反応はどうか。	
	ウ. 今後はどのような年代、地域をターゲットにして情報発信をしていくのか。	
2. 観光振興について	(3) 豊後竹田駅を起点とした観光振興 ア. 現在、J R 九州のクルーズトレインななつ星が到着した際、本市ではどのような観光、体験プログラムを提供しているのか。	
	イ. ななつ星の停車を駅周辺だけでなく、城下町の買い物や食事、伝統文化農産物などへの消費に繋げる取組は行っているのか。	
	ウ. J R 九州が用意する観光だけでなく、竹田市だからこそできる特別な体験を市からJ R 九州に提案していく考えはないか。	